

令和 3 年度

森林づくり推進支援金事業計画書

令和 4 年 2 月

北 相 木 村

1 事業総括表

(1) 一覧表

(単位：千円)

No.	事業項目	事業名	事業費	負担内訳		備考
				支援金	その他	
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	防災・減災のための森林調査事業	269.5	163	106.5	1件10万円以上の備品 補助率2/3以内
2	木を活かした力強い産業づくり	木質化推進事業 (公共施設木製品設置)	301.4	301	0.4	
3	木を活かした力強い産業づくり	木質化推進事業 (木製コサージュ制作)	66	66	0	
合計			636.9	530	106.9	

(2) 事業実施期間

令和3年7月1日 ～ 令和4年3月25日

2 個別事業計画

No.	1	1/3
事業項目	みんなの暮らしを守る森林づくり	
事業名	防災・減災のための森林調査事業 (ドローンによる上空からの森林調査)	
事業目的	<p>(1) 地域の森林・林業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北相木村の集落周辺に広がる里山は、古くは地域の共有林として管理され個人分割された森林が多く、燃料革命以降、森林の燃料としての利用が低下したことに伴い、整備が行き届かず放置された森林が目立つようになっている。森林所有者の山離れも深刻で、このまま放置すれば倒木や山崩れなど災害の発生を誘因することも懸念される。 <p>(2) 本事業の目的</p> <p>(1) の課題への対応方向について記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村民の暮らしを守るための森林整備を効果的に進めるために、優先順位を決めて森林整備を進めていくことが重要だと考えている。そのために、北相木村の里山の全体的な森林状況を把握し、効率的に現地調査・森林整備を行い、里山の「防災・減災」につなげて行く。 	
事業内容	<p>(1) 実施場所 北相木村全域</p> <p>(2) 対象者 村民</p> <p>(3) 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンにより村内の集落・農地周辺の里山林を中心に撮影し里山の「防災・減災」に向けた森林整備の基礎資料として活用する。 <p>(4) 事業目標及び当年度事業量</p> <p>①全体計画 (令和3年～令和4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内の集落・農地周辺の里山林を中心に撮影し、「防災・減災」に向けた森林整備の基礎資料として活用する。(R5年度以降についても、毎年継続し実施して行く。) <p>②令和3年度計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの購入、整備が必要な森林の抽出や調査に活用 (要綱第2第2項の交付対象外事業でないことを確認) <input checked="" type="checkbox"/>県が交付する補助金等の交付対象となる事業ではない。 (地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金を除く。) <input checked="" type="checkbox"/>地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/>国の支出する支出金及び補助金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/>国又は県が出資する財団法人等からの助成金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/>分担金または負担金としての市町村支出事業ではない。 	

	<input checked="" type="checkbox"/> その他要綱の規定する趣旨に即さない事業ではない。 (森林環境譲与税と使途が重複しないことの確認) <input checked="" type="checkbox"/> 森林環境譲与税を活用して実施する事業ではない。		
事業効果	(1) 事業実施による効果 (事業目的に対応する効果について記載) ・ドローンを活用して上空から森林調査を実施することにより、村民の暮らしを守る森林づくりのための里山整備を効果的に進めていくことができる。 (2) 継続性 (事業又は事業効果の継続性、発展性について記載) ・里山整備を効果的に進めていくために、継続し実施することが必要。また、里山整備の促進につながることを期待できる。 (3) 普及性 (事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載) ・ドローン空撮の写真を活用し、住民や森林所有者への説明することにより、森林整備の理解や協力を得やすくなる。 ・里山の森林整備が進むことで、村民の生活が安心感を得られる。 ・身近な里山が整備されることで村民が森林や森林整備に興味を持ちやすくなる。		
事業実施期間	令和3年7月1日～令和3年3月25日		
事業費	269.5 千円		
内 訳	実施内容	積算基礎	事業費
	ドローン一式	245,000円×1台	245,000
	消費税		24,500
	計		269,500

(添付書類)

- 1 事業計画図書 (位置図、見取図、設計図、設計書等)
- 2 その他地域振興局長が必要と認める書類

※ 事業内容の内訳については、別紙 (任意様式) 添付での対応も可。

No.	2	2/3
事業項目	木を活かした力強い産業づくり	
事業名	木質化推進事業 (公共施設木質化)	
事業目的	<p>(1) 地域の森林・林業の現状と課題 主林木であるカラマツの林齢が、11 齢級(51 年生)以上が 1,696ha(69%)で更に 13 齢級(61 年生)以上では、517ha(21%)、6 齢級(30 年生)以下は、2.93ha(0.1%)と著しく偏った齢級構成となっており、<u>次代へのカラマツ林の更新が大きな課題。</u></p> <p>(2) 本事業の目的 (1) の課題への対応方向について記載 公共施設(診療所・介護施設)に配置することにより木の質感や良さを体感すると同時に、森林の多面的な公益的機能を理解してもらう。</p>	
事業内容	<p>(1) 実施場所 診療所他 (2) 対象者 施設利用者 他 (3) 実施方法 ・北相木産カラマツを使用した木工製品(看板・収納ボックス・イス・テーブル)を制作し配置する。</p> <p>(4) 事業目標及び当年度事業量 ①全体計画(平成 30~令和 4 年度) 木製備品の設置 ②令和 3 年度計画—(実績)— ◎診療所:木製看板 6 枚, 木製イス 1 台 ◎介護施設:収納ボックス 1 台, 介護補助テーブル 3 台</p> <p>(要綱第 2 第 2 項の交付対象外事業でないことを確認) <input checked="" type="checkbox"/> 県が交付する補助金等の交付対象となる事業ではない。 (地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金を除く。) <input checked="" type="checkbox"/> 地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国の支出する支出金及び補助金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国又は県が出資する財団法人等からの助成金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 分担金または負担金としての市町村支出事業ではない。 <input checked="" type="checkbox"/> その他要綱の規定する趣旨に即さない事業ではない。 (森林環境譲与税と使途が重複しないことの確認)</p>	

	<input checked="" type="checkbox"/> 森林環境譲与税を活用して実施する事業ではない。		
事業効果	<p>(1) 事業実施による効果 (事業目的に対応する効果について記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製品にふれあうことにより、村民への木材・林業への関心を高める。 <p>(2) 継続性 (事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製品の良さを認識していくことにより、将来的に施設の木質化を図りたい。 <p>(3) 普及性 (事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所や介護施設の利用者に地元材（北相木産カラマツ）の良さが伝わることで、今後の森林整備・木材利用の推進につながる可能性がある。 		
事業実施期間	令和4年2月14日～令和4年3月25日		
事業費	176 千円		
内 訳	実施内容	積算基礎	事業費
	木製看板	@6,500×6枚	39,000
	木製イス	@75,000×1台	75,000
	収納ボックス	@55,000×1台	55,000
	介護補助テーブル	@35,000×3台	105,000
	消費税		27,400
	合計		301,400

(添付書類)

- 1 事業計画図書（位置図、見取図、設計図、設計書等）
- 2 その他地域振興局長が必要と認める書類

※ 事業内容の内訳については、別紙（任意様式）添付での対応も可。

No.	3	3/3
事業項目	木を活かした力強い産業づくり	
事業名	木質化推進事業(木製コサージュ制作)	
事業目的	<p>(1) 地域の森林・林業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主林木であるカラマツの林齢が、11 齢級(51 年生)以上が 1,696ha(69%)で更に 13 齢級(61 年生)以上では、517ha(21%)、6 齢級(30 年生)以下は、2.93ha(0.1%)と著しく偏った齢級構成となっており、<u>次代へのカラマツ林の更新が大きな課題。</u> <p>(2) 本事業の目的</p> <p>(1)の課題への対応方向について記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生に木工製品から木や自然を身近に感じてもらい、北相木の森林・林業に興味を持ってもらうことで、北相木の山の将来を考えてもらうきっかけにしたい。 	
事業内容	<p>(1) 実施場所 北相木小学校 他</p> <p>(2) 対象者 卒業生 他</p> <p>(3) 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材の鉋屑を利用した木製コサージュを卒業生に身に付けてもらう。 ・卒業式等のイベントにて、キノハナを飾り、木の香りや木の魅力を感じてもらう。 <p>(4) 事業目標及び当年度事業量</p> <p>①全体計画(令和元年度～令和4年度)</p> <p>木製品の活用方法の拡大</p> <p>②令和3年度計画</p> <p>木製コサージュ:20個(保育園7+小学校13)</p> <p>(要綱第2第2項の交付対象外事業でないことを確認)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 県が交付する補助金等の交付対象となる事業ではない。 (地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金を除く。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金の交付を受けていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 国の支出する支出金及び補助金の交付を受けていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 国又は県が出資する財団法人等からの助成金の交付を受けていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分担金または負担金としての市町村支出事業ではない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他要綱の規定する趣旨に即さない事業ではない。 (森林環境譲与税と用途が重複しないことの確認)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 森林環境譲与税を活用して実施する事業ではない。</p>	

事業効果	<p>(1) 事業実施による効果 (事業目的に対応する効果について記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製品にふれあうことにより、子供たちの木材・林業への関心を高める。また、枯れることはないののでいつでも北相木小学校・保育園で体験した林業体験を思い出してもらいたい。 <p>(2) 継続性 (事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産カラマツを利用することにより、木製品としての価値を再認識してもらう。 ・木材の新たな利用方法として認知してもらい、利用方法の拡大を図る。 <p>(3) 普及性 (事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の大半が県外でもあり、県内外に北相木産カラマツや木材の利用方法拡大、PRを実施できる。 		
	事業実施期間	令和4年1月11日～令和3年3月25日	
事業費	66 千円		
内	実施内容	積算基礎	事業費
	木製コサージュ 消費税	@3,000円×20個	60,000 6,000
訳			66,000

(添付書類)

- 1 事業計画図書(位置図、見取図、設計図、設計書等)
- 2 その他地域振興局長が必要と認める書類

※ 事業内容の内訳については、別紙(任意様式)添付での対応も可。